



森ボラ 通信

第180号 2017年5月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6 ラルズビル3F

Tel. (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

トピックス

◆2017年度第1回理事会・第15回定期総会の報告

5月2日(土)札幌エルプラザで15:00から第1回理事会に引き続き15:30より定期総会が開催されました。

総会では、会員数76名に対して28名が出席し熱心な討議がなされました。横山理事長のご挨拶では年寄りが元気な社会を作っているが特に協会の活発な活動は世の中の牽引者として貢献しているので更に100歳まで頑張ろうと激励を受けました。

議長に酒井和彦さん。議事録署名人に西野悌三さん、和田功さんが選任されました。総会審議では第一号議案 2016年度事業報告及び決算報告、第二号議案 2017年度事業計画及び予算計画、第三号議案「森ボラ協議会」に係る件 2016年度事業報告及び決算報告並びに2017年度事業計画及び予算計画は議案通り承認されました。

議案内容はホームページに掲載されています。(文・事務局)



◆リュバンの桜



澄川環境林の駐車場を超えて管理地に入る坂道の手前左側にマホガニー材に書かれた“リュバンの桜”の案内板をご存じですよ。毎年少しずつですが幹も太くなり花数も増えています。今年も可憐な花を咲かせてくれました。残念ながらGWの連休中で活動日に当たらず皆で見ることが出来ませんでした。

この桜の木の下では幼稚園の子ども達が昼食を取る場所として開放しています。今年も澤田様、山光様が事務所に来られ多大なご支援をいただきました。森の保全活動に使わせていただきます。感謝申し上げます。

(文・事務局)

活動報告

◆2年目を迎えた親子森林教室

「2017年度森しり隊」がスタートしました。4月2日、Lプラザに於いて登録隊員19名(継続隊員10名、新規隊員9名)中17名とその保護者、協会員11名が集まって17年度の発足式・オリエンテーションが開催されました。

昨年、協会の新しい主力活動として立ち上げた親子森林教室、その一年間の活動の成果や反省を踏まえ、気持ちも新たに取り組みます。協会員の方々には尚一層のご協力を宜しくお願い致します。

■発足式は以下の内容で行われました。

①まずは隊員による自己紹介。今回「主役は隊員」との意味合いもあり、保護者の紹介は子ども（隊員）にお願いしました。

②主催者を代表して酒井代表より、ここでの体験学習をきっかけに大人になって森に関連する仕事に携わる人が出て来てくれること、また直接仕事に関係なくても個人として何らかの形で森に関わって欲しい旨の願いを込めた内容のご挨拶がありました。

③プロジェクト長の大窪さん（隊長）より「森しり隊活動手帳」を繰りながら年間活動内容を紹介しました。今年度は開催日に予備日を設ける等微調整がありますが、年間スケジュールと各回の学習内容は基本的には前年度と同じ内容となっております。

④プロジェクトスタッフ西野（澄）さんより、森で活動する上での約束事等の説明と事務局から市山さんより保険内容に関する説明がありました。

<休憩>

⑤最初の学習体験としてプロジェクトスタッフ和田さんにより用意された様々な製品から「木が原料の製品は何か？」の問題に対して、隊員達が協力して考え回答する方法で進められました。

⑥ネームプレート製作担当の田山さんがネームプレートの原版を配布し、次回実際に作成する際の製作要領と手順を説明。

最後に参加者全員で協会員の柿沼さんによる記念撮影で終了しました。今年度は前年度に比べてメンバーが一気に倍増しましたが、継続隊員が約半数だったこともあり、隊員と協会員の意思疎通もスムーズで一連のセレモニーは和気あいあいとした雰囲気の内に行われました。

尚、第二回目は4月23日（日）「森に触れて、木を知る」をテーマに①ネームプレート作り②木の構造と役割を学習する③木の音を聞く④キノコの菌を植える、以上の内容で行いました。

（文・三橋）



◆シイタケ・ナメコの植菌

冬の整理間伐で準備したミズナラ、イタヤカエデ、シラカバを天日干しにして乾燥させたホダ木は200本程になりました。年々は株立ちしたミズナラが少なくなり間伐が出来るホダ木は減少傾向にあります。他の樹種と合わせて何とか間に合いました。

今回は植菌体験の前に子ども達にキノコの生態について学習し、直径10cmのホダ木を見本にして駒菌の打つ位置や間隔についてその理由を含めて講義がありました。先生役の石川さんの講義は厳しい中にもユーモアを交えながら模型と図を用いて子ども達に教える事で植菌実習の学習的成果を上げてくれました。

親子森林教室では4月23日に森しり隊員17名はミズナラのホダ木25本にシイタケの駒菌を植菌しました。4月25日には澄川南小学校4年生57名がミズナラ10本とナメコ9本を植菌しました。それぞれ仮伏せした後、子ども達は植菌したホダ木からシイタケやナメコが収穫出来るのは来年の秋頃と聞かされて“エーそんなに遅いの”と調子抜けした様でしたが、これからお世話活動をしてくれる事を約束しました。



又、5月28日には協会員がシイタケ65本(ミズナラ)、ナメコ83本(ミズナラ、イタタカエデ、シラカンバ)の植菌を終えました。今年はシイタケとナメコ各3,000駒を植菌し6月には本伏せをして1年半後の収穫を待ちます。(文・事務局)

◆ 早春の森を歩き、植菌作業を行う!

2017年親子森林教室・森しり隊の第2回活動報告から

第2回目の親子森林教室・森しり隊は4月23日(日)に、エゾアカガエルの鳴き声に迎えられて澄川都市環境林で開催されました。初めは曇っていた空もやがて晴れて気温も上昇し、元気な子どもたち17名と保護者12名、協会員18名、総勢47名が参加しました。

一日のスケジュールと説明者が紹介され、ラジオ体操をして活動開始です。まずは、新規隊員9名は説明者・田山さんの指導の下でネームプレートを作りました。第2小屋前のテーブルで、それぞれ描いてきた図案にバーニングペンで焼きを入れて黒く縁取り、ニス塗って完成させました。一方、昨年ネームプレートを作った継続隊員8名はB4地区から20数本のミズナラのホダ木をリヤカーで運ぶ作業をしました。



ホダ木を積んだりリヤカーを皆で引っ張る



真剣にネームプレート作り

最後の活動は親子共同作業のキノコの植菌作業です。第2小屋前広場で、前段では説明者の石川さんから手作りの資料に基づいてキノコの構造、菌の種類、種コマを打ち込む穴の開け方を丁寧に教わり、いざ実践です。3組に分かれて、一人1本の勘定で、



沼でエゾアカガエルとエゾサンショウウオの卵を発見



お母さんの協力でお木を完成

第2回活動スケジュール

9:35	朝礼・ラジオ体操
9:45~10:30	ネームプレート作りとホダ木運び
10:30~11:10	森や木の働きについて学習
11:10~12:05	昼食・休憩
12:05~13:20	春の森を歩いて観察
13:20~14:30	キノコの学習と植菌作業
14:30~14:45	みんなでまとめ・解散

次は森と木についての学習です。子どもたちは第2小屋前のテーブルに座って、説明者の酒井さんから森の3つの役割(水土林・生産林・共生林)や木が燃えて発生する熱エネルギーの話の聴きました。柔らかい春の陽射しを受けて昼食を摂った後、午後の最初の活動は春の森を歩いて、森の胎動を観察することです。説明役の酒井さんの案内でB2地区までの往復の間、崖地に立つ木の根の役割やミズバショウの咲く河畔林の大切さ、雪解け水を湛える沼に産み付けられたエゾアカガエルとエゾサンショウウオの卵、鹿とネズミの食害に遭った木を観察しました。聴診器を使ってシラカンバとハンノキの「木の音」も聞き取りました。



早春の澄川の森に全員集合



電動ドリルでホダ木の穴開け

午前中に運んだミズナラのホダ木に電動ドリルで穴を開け、そこに種コマを36~42個を打ち込んでいきます。子どもたちはお母さんにホダ木を抑えてもらいながら、慎重に電動ドリルで穴を開けていきます。終わるとホッととして、次はキノコがたくさん出るように勢いよく種コマを打ち付けていました。40分ほどの作業でシイタケのホダ木が25本出来上がり、その場に仮伏せしました。

少し予定を超過したので簡単に皆で今日体験したことを振り返るまとめをして、次回の予定を連絡し、自宅で育ててもらおうエゾヤマザクラのポット苗を配付して終了しました。

次の第3回目は6月18日(日曜日)で、木を育てる方法を学習し、実際にハルニレの種を拾い、播種します。(文・清澤)

■今月の幹事会

出席者：市山、大窪・荻田・樫棒・加藤・清澤・酒井・佐野・高野・釣井・西野・矢澤・和田

1. 2017年6月、7月スケジュール・・・6月2日（金）
 2. 第二回親子森林教室・・・説明者のマニュアル作り、第3回開催の確認（炭焼き材の確保等）
 3. 2017年度森林・山林多面的発揮機能対策進行状況・・・
 4. 協会15周年記念誌・・・10月から準備スタート（準備会メンバーは荻田さん一任）
 5. 札幌大学 学校林支援に付いて・・・5/11 学校林の見学
 6. DCM ホーマックの植栽樹種に付いて・・・6樹種のカミネッコン378鉢植栽（B-7）
 7. 札幌このみの園（盤溪）チップー貸出の件・・・6月貸出（澄川使用5月、有明使用10月）
 8. 活動報告
 - 5/8：水明郷⇒烏柵舞・・・現地調査、23日用の支柱竹、ピートモスの運搬（キャリコ）
 - 5/23・24：烏柵舞・・・①アカエゾ移植 灌水作業（水正氏依頼）②施肥試験、菌根菌
③広葉樹活着調査 ④人力地区のシラカンバ間引施業調査
 - 5/13：宮坂氏の「札幌の洪水跡を訪ねる」（川セミ）
 - 5/20：澄川ローソン体験学習スケジュール・・・41名参加
 9. 委員会報
 - 広報委員会・・・木の里親制度の廃止
 - 研修旅行の参加状況
 10. その他
 - ・理事会、総会の流れ最終確認
 - ・道庁林務課 宮脇主幹から製材作業現場の視察・・・6月予定
 - ・2017年4月会計報告
- 以上

◆ 新入会員紹介：本郷千弥子さん ◆
読書（村上春樹のファンです） 森の中で身体を動かす事

■活動履歴

月 日	行事・活動地	参加数	活動内容
4月18日（火）	澄川	4	悪天候で通常の作業中止・リンゴ園準備
4月20日（木）	斉藤リンゴ園	13	リンゴ老木（5本）の伐採と抜根作業
4月21日（金）	ラルズビル	9	定例幹事会
4月23日（日）	澄川	18	第二回親子森林教室（ネームプレート作り・キノコ植菌）
4月25日（火）	澄川	15	澄川南小4年生キノコ植菌（シイタケ10本、ナメコ9本）
4月27日（木）	澄川	15	キノコ植菌（シイタケ65本、ナメコ83本）
4月28日（金）	澄川	1	キャリコの定期整備
5月2日（火）	ラルズビル	12	定例幹事会
5月7日（月）	澄川⇄リンゴ園	2	チップー引取り
5月8日（月）	烏柵舞・水明郷	20	植栽列・作業道の状況調査、根踏み作業
5月10日（水）	札幌エルプラザ	29	2017年第1回理事会（7名）・第15回総会（28名）
5月11日（水）	澄川	17	冬囲い撤去・ローソン植栽地整備・札幌大学自然林視察
5月13日（土）	豊平川・創成川	17	講師宮川氏 “札幌の洪水跡を訪ねて”
5月16日（火）	澄川	16	土木作業（目土）・ローソン植栽樹種準備とマーキング